

画像のある部分を切り取り、背景が透過した画像を Windows10 に付録として入っている「ペイント 3D」を使って作成すると、下記のような写真が自由にできます。



作成の仕方: 伊藤選手の画像で、「ペイント 3D」を使って背景を透明化し、新たに背景となるパリ五輪の写真の上に伊藤選手の画像を貼り付けました。



(jpeg 形式等の画像)

+

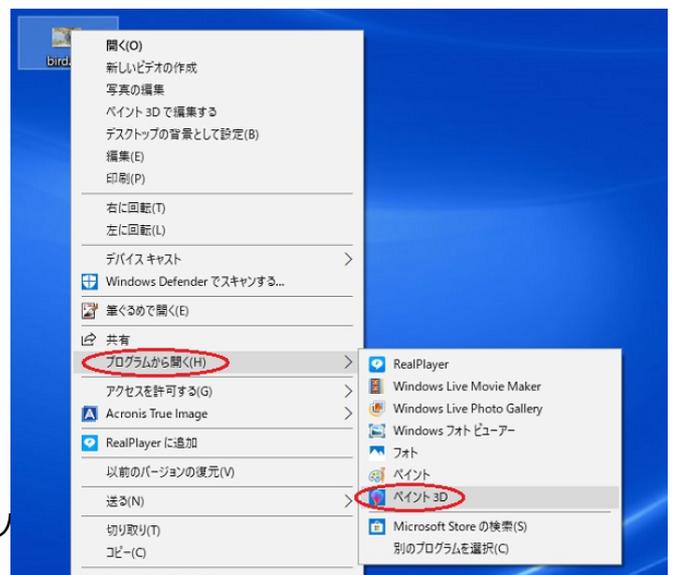


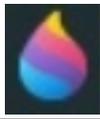
(png 形式の画像)

1. 目的物の背景を透明化した画像(png 形式の画像)の作り方

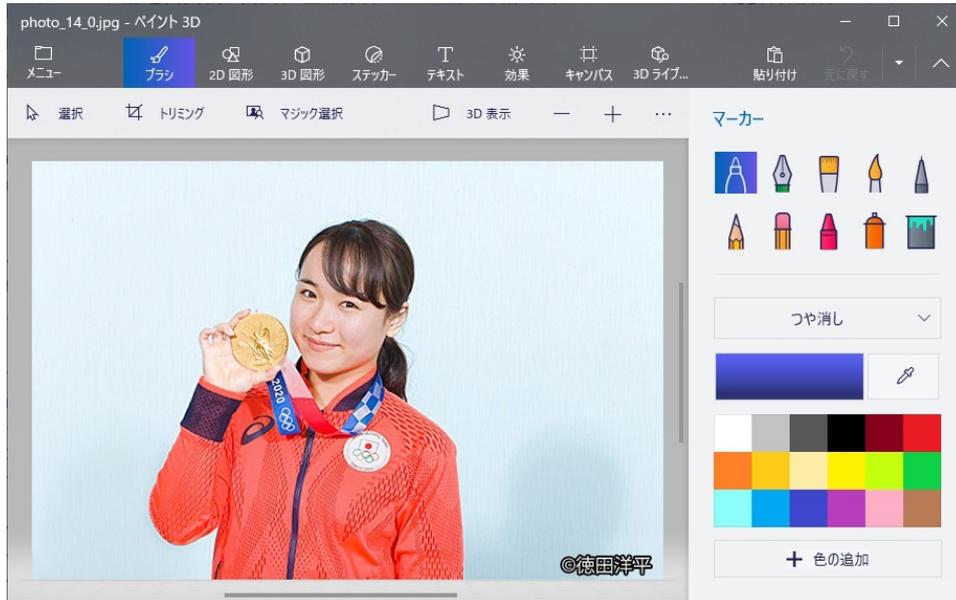
① Windows10 に付録する「ペイント 3D」  ペイント 3D で背景を透明化したい画像を開きます。

- ・加工したい画像のファイル名をマウスで右クリック
- ・右の様にタブが開くので「プログラムから開く」をクリック
- ・そして「ペイント 3D」をクリックすると指定した画像が「ペイント 3D」ソフトで開きます





②加工したい画像がペイント 3D で開いた画面



③画面左上にある「マジック選択」をクリックして背景透明化したい対象部分を選択します。

マジック選択

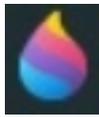
選択する範囲をマウスで決めます。
(できるだけ範囲を小さく限定する)

選択後「次へ」をクリック

④残したい画像部分「追加」、消し去りたい画像を「削除」と、マウスで範囲をなぞり、残す範囲を整えて行きます。

追加 **削除**

背景のコントラストがはっきりしている画像はソフトで簡単に切り抜いてくれます。
切り抜き作業が終わったら「完了」をクリック



⑤ 切り抜き完了後の画面は下のようになります。枠で囲まれた部分が選択された状態です。

次にキーボードで「Ctrl」キーと「C」キーを同時に押して、パソコンに「コピー」します。

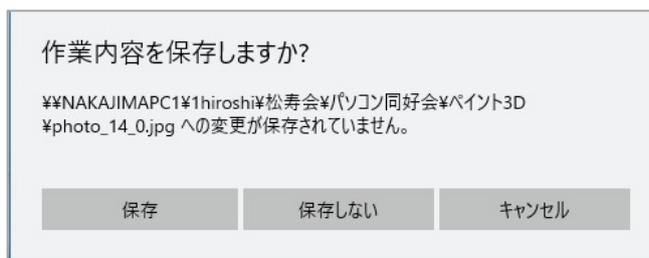


【おまけ】 上記の画面の状態では、編集メニューのハサミボタンをクリックすると、選択した部分が消え去り、背景だけが残った画像になります。

⑥ ⑤でパソコンに「コピー」したデータを使って新規の画像を作成します。

画面左上の「メニュー」ボタンをクリックし、「新規作成」を押して、新たな「ペイント 3D」画面を開きます。

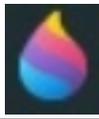
その時画面には「作業内容を保存しますか？」と出ます。

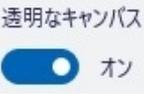


それまでに対象画像を抜き出す為に作成したデータを残したい場合は『保存』しておきます。次以降の作業で失敗した時に作業が無駄になってしまってガッカリという事は起こりません。

新たな「ペイント 3D」画面が開いたらキーボードで「Ctrl」キーと「V」キーを同時に押して、「ペースト」します。

⑤でパソコンに「コピー」したデータが新たな「ペイント 3D」画面に貼り付けられます。



・キャンバス  ボタンを押し、透明なキャンバスを ON  とします。

・背景透過画像として保存したい範囲を決めます(下記画像の▶で調整) ※コンパクトに範囲をしておく



⑦ 画面左上  をクリックし「名前を付けて保存」ボタンを押しした後、コピーとして保存の「画像」ボタンを押す。

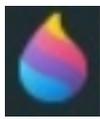


⑧ ファイルの種類を「PNG」を選択する。



保存  ボタンを押して完成





2. 背景透明化した画像(png 形式の画像)を使って画像の合成

ペイント 3D は画像の合成処理は得意ではありません。

したがって次の様に行います。

①「Power Point」「Excel」または「Word」を開きます。

②「挿入」⇒「図」⇒「ファイルから」と操作して「Power Point」「Excel」または「Word」の画面上に、合成したい画像を挿入し、合成します。



③合成した写真部分をパソコンの「プリントスクリーン」ボタンでコピーしたデータを「ペイント」ソフトに貼り付けて画像データ化(JPEG 化)します。

または合成した写真を「Ctrl」キーと「V」キーを同時に押して、「コピー」し、「ペイント」ソフトに貼り付けて画像データ化(JPEG 化)します。